

債権管理実務研究会とは

1982年に発足した株式会社商事法務の年会費制事業で、企業の与信・審査や債権管理・回収を担う実務担当者の教育・研鑽の場です。法制度や裁判動向、税務・会計・財務分析、社内体制など幅広いテーマを扱い、セミナーや会員交流を通じて多角的な実務情報を提供。約200社の会員に対し、人材育成と組織力強化に資する活動を展開しています。

■以下セミナーにご招待(無料)いたします■

事例で学ぶ投融資の実務対応とリスク管理

～法務・監査・調査・登記等の視点からスタートアップ事例を分析する

■開催趣旨■

- ▶スタートアップ投融資の現場では、急成長の裏で企業価値の変動やガバナンス課題、情報の非対称性など、思わぬリスクが潜んでいます。また、近年では「吸血型M&A」のような新しい買収スキームも登場し、投資判断や企業側の防衛策には、より高度で実践的な対応が求められています。
- ▶本セミナーでは、M&Aをめぐる最新動向を整理し、スタートアップへの投融資の事例をもとに法務・監査・信用調査・登記の各専門家が、現場で押さえておくべき実務上の留意点を具体的に解説します。
- ▶さらに、講師陣に加え、複数の聞き手に加えパネルディスカッションを実施し、異なる専門領域の視点からリスク管理の実践的知識を学べる貴重な機会です。これからスタートアップへの投資に関わる方や、関連業務に携わる実務担当者にとって、現場で役立つ判断のポイントを一気に把握できる内容となっています。

事例概要

[以下のような架空の事例をもとに解説します。内容については変更の可能性がございますがご了承ください]

成熟企業A社は、AI技術を有するスタートアップB社に対し、将来のM&Aも視野にマイノリティ出資と転換社債による資金供給を検討する。当初は一般的な条件であったが、研究開発方針への関与や重要事項の承諾権、役員派遣など関与を強める内容が加わり、既存VCからは実質的な経営支配への懸念が示される。一方、主要取引先C社も、B社の経営や取引への影響を踏まえ与信見直しを検討。

講師

- 大隅 真志 氏 (株式会社帝国データバンク 名古屋支店情報部長)
- 白井 紀充 弁護士 (TMI総合法律事務所 パートナー)
- 小川 紀久子 氏 (有限責任あずさ監査法人 企業成長支援本部所属 テクニカル・ディレクター)
- 丸山 洋一郎 司法書士 (司法書士法人丸山洋一郎事務所)
- 岡田 昇祥 氏 (株式会社日本貿易保険 大阪支店 営業グループ)
- 木村 憲司 氏 (丸紅セーフネット株式会社 名古屋支店長)

※講師は変更になる可能性がございます。

開催日程

6月4日(木) 14時～17時 [申込期限: 5月29日(金) 12時まで]

会場

J Pタワー名古屋ホール&カンファレンス(愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1-1)

ご不明な点は下記までお問い合わせください

問合せ先

株式会社商事法務 債権管理実務研究会事務局
〒103-0027東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階
EMAIL: saiken-kanri@shojihomu.co.jp
TEL: 03-6262-6764/FAX: 03-6262-6802
URL: https://saiken.shojihomu.co.jp

下記QRコード・URLよりお申し込みください

受講料: 無料
定員: 1社2名まで(後日の配信はございません)
URL: <https://forms.gle/nByF1noVQNPJv5Ry6>
※GoogleFormへのアクセスができない方は
左記までお問い合わせください

